

日蓮大聖人の教えを正しく伝える法華宗



咲がそう、いのち



お盆ってなあに？

けんたくん(五歳)がお盆について聞いています。

(け)お父さん、お盆ってなあに？

(父)お盆っていうのはなあ、いつもよりごせんぞさまに思いを巡らせる時期のことだよ。

(け)ふーん。ごせんぞさまってなあに？

(母)わたしたちよりも、ずっと前に生きていた家族のことよ。

(け)ずっと前の家族？

(母)けんたには、お父さんとお母さんがいるでしょ。

わたしたちにも、お父さんとお母さんがいるの。

(父)そして、そのお父さんとお母さんにもお父さんとお母さんがいてというふうに、ずっとずっと家族がつながっているんだ。

(け)えー！ずっとつながってるの！

(母)ええ。そのつながってきたみんなが、ごせんぞさまなの。

(父)そのおかげで、いまのぼくたちがいるんだよ。

(け)そっかあ。ぼくもつながってるんだね！

(母)そうよ。ごせんぞさまから、いのちをいただいているの。

(け)じゃあ、お盆はその人たちのことを考える日なんだね！

(父)そうだな。そして「南無妙法蓮華經」っておとなえするんだ。

(け)なむみようほうれんげきよう？

(母)そう。ごせんぞさまや、みんなのいのちが大切だっていう気持ちをこめて、おとなえするのよ。

(父)ありがとうの気持ちをこめてな。

(け)ぼくも言ってみる！なむみようほうれんげきよう！

(母)ええ、とってもいいわね。きつとごせんぞさまも喜んでくださるわ。

